論郎田衞紫天十 ニ兵ノ射野五 起衛答 元日 是 日使隊 ヨニトヲ リ遣同益紫野 先ハシ田間間 キシ、二 り る 如、而遣嗣 此今テハ原・ キ段栗シ麝 事ノ山 二全兵ノ衛 相ク衛石 議隊尉ヲ シ士使促 `ノヲス 公争生 ` 駒益

慶長 + ·年乙巳 一月大

Щ

口県史」

史料編近

録

兀

其ヲタルヨトモ既欲宍我ナテナ然ヲ答千天十 数肯宍ヘリシ亦ニシ道モシ償レル受へ百野六 ニン戸キ天之夕シ、五亦、ハハ後ケニ担ヨ日 盈セ善ヲ野ヲ井テ益郎タ且サ其チ内 タス左以ノ諾原天田兵之ツレ意其裁三石復 サ 、衛テ隊ス四野ノ衛ヲ内ハハ答ナ人ハタ レニ門ス士ヲ郎ノ場尉告裁、償ニシノ築使 ハ千尉、二以右所二政ケナ後却及難過造ヲ 恕百之然語テ衛ニ往慶ンシ日セフキ挙ノ栗 ス担ニトル熊門至キ・ト難ニサヘトハ資山ルノ加モニ谷尉リ、宍スケ至ルシキ其ナニ ヲ内ル天、ニ元、元戸、レリニトハ数レ遣 得百二野前郎以語祥善是ハ之在、、ラハハ ス担五ノ日兵ノル父左日元ヲリ天我償速シ トハ百隊ノ衛下ニ子衛午祥償ヤ野モ却ニ 恕担士石尉僚其二門時・ト、ヨ亦ス弁昨 抗スヲ許千ニナ意告尉ヲ景雖今リタへ償日 辞へ以諾担託レヲク和限祥ト日又元シ有論 屈シテセヲシハ以ル解リニモ明タ祥 ` レ担テテ恕政ヲ元シン促ヘルヲ如告公栗

ハハ尚又ア慶主信メトスシ所以此ケ裁山二

千野償分促ハ貴千日証ルテ

百ノフスス他隊余貴スア視元ナ野千在シタ指十 担隊能へ、日ニ担隊、リ察祥リノ有リ以起月四急ヨハシ栗ヲ交既ノ三、セノ、臣余、テラ城日

ニリス `山待付ニ役郎一シ吏天之担其築スノ

スヒ、ハニス、、テ門元益三臣何、ズシニ其

スピ、ハニス、ア門元益二足門 ハムス へ盗天明、ヘ三請石尉祥田郎某シ人所、テラ キ既野白盗シ郎フヲ石ノ氏右�� 一人所、天老安 ヲニノノ三ト右、掠垣役ノ衛ニ人アノ日を 促貴使支人、衛其ムヲ丁、ニ尉人ヲ明ニ人ヲ 促貴使支人、衛其ムヲ丁、ニ尉人ヲ に責に正の天門石、下、ニ尉ノフト ニーア元野尉ヲ今リニ非石ヲ ニート

奪還否スシシ人掠日丁其、場益、ル郭其石ノスサ我其、ノムクナ盗人至田、者門場垣石、レレ償償盗、、ルヲヲル、役、ソ内区役工天八処ヲ石ハニ昨ヲ知シ、役、ソ内区役

ニニ分未

ト償答テス画丁右人メ栗野ヲ延運造、営 却再テ石ル議トク来衛ハ、山ノ誰雪融セ是造

> 既ハノ知其挙ノ宥ノ意吏ノス待 ニ償論サ処元奪恕処ヲ三周、タ 西ヒモル分信フセ分告人旋然ス 山難固トモ知ハハハクヲヲト和ニショ為亦ラ我、子、伴煩モ解 傾トリシタサレ石ノ栗ヒハ其ス ケナ償、顕ル償ノ意山栗サ論ル ハリハ以然無フ数ニ曰山ン鋒多 皆、ステナカ能ハ随クノト甚シ ナ各ト其ラルハ多ヒ、所、鋭故 其舎云事サヘサ寡之前ニ生ナヲ 議ニニヲルシルヲヲ日至駒レ以 ニ帰ハ謀ヲ、ナ論行貴リ許ハテ 決リ非ル得若リセフ价、 シ宜ストスシトスへニ三シ解元 我ク、、、之、償シ答郎、極祥 舎熟唯生故ヲ某へ、ル右元テ父 ニ考タ駒ニ知言歌ン若如衛信難子 返ス他日先ルク、シク門臣タニルへ人クツ顕、然又、尉某シハ

其二宍 処謝道 分シ・ ヲ、宍 受是戸 ク後ノ ルハニ ノ我人 外輩モ 術ノ己 ナ及ノ カフ課 ル所役 ヘニ未 シ非タ トス竣 云、七 ハ元サ `祥ル 柳父ヲ 沢子以 三ニテ 左告栗

衛ケ山

ト盗山ニヲヲヘ然ハ尉益十 謂ミノ返問以シト既ヲ田八 ヘタ意シハテトモニシ元日 シルニ訊サス `其刑テ祥 `ヤ出問ル `天事ニ天ノ 今 `ルヲハ其野ノ処野吏 マ審ヤ受何験ノ穏ス元真質 元察、ルソヲ隊ナヲ信素肝 祥糺又カヤ見士ラ以ノ熊 ノ明ハ、、ス答サテ東公 私シ栗石彼シルレンドの 私シ栗石彼シルレ ニ元 ヲテ山ヲ盗テニハ其言直 以其ハ盗ハ可、貴験ハノ テ後嘗ハ奉ナ石隊トシャ 之チテ僕行リ盗ョシメト 刑ヲストへ然刑一首二生 刑プストへ然刑一自り生 ス施シ難出トス人級ク駒 ハセテトスモル来ヲ、三 、ハニエカ甘・川洋・郎 、ハミモカ其ニリ送」の即 栗之人其、罪主験ラ次兵 山ヲノ実又ノ家閲ンニ衛 ノ公真ハハ源ノアト 悪刑ニ栗我委法ルス人

ルナ令家其告意以三益十 ヘリヒ人助ケ恐ニ浦田七 シト他ナ命スク其内元日 人リヲ罪ハ刑左祥 先元ハ、求人非ノ衛ハ ツ澄之家ムヲナ当門栗 之・ヲ人ル我ルル尉山 ヲ重何ニニニニ所元ノ 天棟トシ似返似ヲ澄言 野以云テタスタ問・ヲ 元為モ盗リ、リハ同聞信ク我名、而、シ平キ ニ、ニヲ且テ何ム右 謀直在受ヅ今ト、衛刑 ルニテク僕元ナ景門ヲ 、元ハ汚隷以レ祥尉三 元以刑辱ノ・ハ之重人 信ニセモ賎元天ヲ棟ニ 曰告サ亦ト澄野聞ヲ施 クハルタ雖等ヨキシス `公ヲ甚トニリ `テへ 彼裁得シモ告元家井シ ノトサ、我ル以君原ト 盗ナル縦ノハヘノ元

シ所モ兵ニ尉 テロ亦衛二景 此如タ尉百祐 夜此去ニ担モ 其ニレ託ヲ亦 源シリシ加タ 委デーを 詳モ物ノフ千ヲ 二聴量請七謀 シ従パット百リ 、セン 雛担 、 元サットヲ宍 祥レ、モ償戸 ニ栗ノニ如衛 告山謀旨何門 クモ セト尉 サ `ノ レ熊千 Δ ヲ ハ谷五 景次百

スル祐郎担門

ハ天廿 待思ス其ナノヲ `野一 へ慮ル石リ三掩 シノニヲ、人ハ 元元日 ト及刑償然ニン ナハ戮フラ止カ リサヲ可スラ為 ル以シシスメ 所テトテシカ ナス `今テ リ、益既他抑 、而田二家モ 先テョ刑ノ三 益 蹤猶リヲ役人 モヲノ行丁ヲ 田 ア其答へア覆 = 責 レ石ニハル治 ハヲ ` `モセ Δ 公償三前測ハ ル 頗 ニハ人日ル 告シノノ可或 ル ケム盗数カハ 激 上、既ノラ其 切 裁我ニ如サ盗

ヲ等処クル窃

祥信 遂ノ 二隊 奉士 行石 役ノ 二償 達ヒ スヲ

玉衛衛左天廿 若門門衛野四 狭尉尉門五日 守元元尉郎 元以実・右 兼・ヨ三衛 ・佐リ輪門 渡世盗八尉 辺長石郎元 飛門ノ兵信 騨守始衛・ 守元末尉牧 長嘉ヲ・野 ニ・記中次 訴榎シ原郎 フ本、善右 中奉兵衛 務行衛門 大役尉尉 輔井・・ 元原熊佐 吉四谷波 ・郎与次 児右右郎

旨左天廿 趣衛野六 ヲ門・日 詳尉益 載等田 シ和搬 遂解石 ニヲノ 奉謀論 行ル争 役卜 二雖宍 出卜道 スモ五 其郎 事兵 協衛 ハ尉 サ政 レ慶 /\ • 人戸 善

処スモ我謀宥於賊

ス `測ノル恕テヲ

因モ難人リへ人ス テ亦シニ、キ之宜

元タ、シ他道ヲシ

澄公今テ人ナ元キ

・ニマ我ノシ祥処

重告天自罪 、二分

棟ケ野ラナ元告ア

之スヨ裁レ以クル

ヲ私リ決ハニ `へ

元二公セ我謀元シ

告へケ人ヲ以クククキスノ定ハ、待

ト私或ム其既ツ

テニハへ刑ニ可

遂其偏シノ我シ ニ罪頗、当耳ト

殺人ト然ルニ、

戮ヲナト所人是

ニ返スモヲルニ

以刑ニハレル祥 ニス告、之所日暫

`我リ家ナス二刑

門其周廿 守賞防七 其卜国日 命シ分 ヲテキ 伝近中 フ村支 ノ院 地九 ヲ宇 頒多 チ年 各祈 宇祝 ニノ 采労 地ア ヲリ 賜へ フ公 **`**之 佐ヲ 世聞 長キ

可務公廿 ト女三佐二 ラ大、八 `子郎武十 サ輔益日 井成右彦日 原立衛右 ル元田 ヲ吉元 元ノ門衛 以日尉門 要二祥 ・ ヲ 元 尉 ス就及 榎待真卒 キヒ 誓景 本チノシ 元佳息 書祥 ヲヲ 吉婿弥嗣 上召 其ヲ八子 令択郎ナ リシ `密 ヲヒ元ク 伝 `好幼 機旨 フ其二稚 密ヲ 家公ノ ノ授 ヲ役女 議ク 継ヲ子 ノヽ 謹二 カ奉ア シセリ テ人 ムシ、 漏榎 ヘメ同 洩本 キ `族 ス中

天七

子日

勅

ヲ

徳

Ш

家

康

=

賜

ヒ

其

請

ヲ

允

ス

程ル公右家 スヲモ大康 へ以亦将将 キテタ秀軍ト、京忠本 ナ福師本月 リ原二月五 広覲廿日 俊セ四駿 ヨン日州 リト江城 之既都ヲ ヲニ城発 促旅ヲシ ス装発 `ヲシ十 来治、九 月メ海日 二未道伏 日夕京見 ヲ啓師城 期行ニニ シセ覲入 発サスル

益目 田不 元詳 祥 父子 謂 ク、 古 ヲ 照 シ 旧 規 ヲ 考 ル = 窃 ヲ

> 元甚等而心ヲ上乃八 嘉シ他テハ表ル美日 モ 、郷今終シ、孫 亦臣ニ段始力其兵 タ固出村確ヲ略衛 教ヨ奔上乎国ニ景 誠リシ八繊家曰継 ヲ其跡郎毫ニクヨ 臣意ヲ左モ効、リ ニニ封衛変サ臣佐 施同内門替ン嘗世 スセニ尉ナトテ長 `ス絶景キス伏門 臣、ツ広ハ、見守 謹因、及前今二元 テテ其ヒ言日在嘉 其之義臣既ニリニ 旨ヲヲノニ至、就 ラ元忘弟之ル忠キ 奉嘉レ主ヲト貞誓 シニ恩殿尽雖無書 敢告ニ助セトニヲ テケ乖景リモノ公 違、ク嘉、其心ニ

他恵臣若背 日ヲ遂シセ 二以二彼ス 報セ国等 ヒハ家モ然 奉、ノ亦ト ル家不タモ ア臣虞日臣 ラ等ニ々微 ンニ備ノ禄 ト分ル給ニ ス給無ヲシ シシ取テ 繋、ル家 糜願能臣 抑ハハ等 留臣スニ ノニシ頒 術賜テツ ヲニ逃ニ 施些亡足 シ少セラ 以ノハス テ恩、ご

公叙天十 伏シ子六 見、勅日 城内ヲ ニ大徳 上臣川 リニ秀 `任忠 前シニ 将淳下 軍和シ 二• 謁奨征 シ学夷 其両大 退院将 職別軍 ヲ当ニ 賀卜補 ス為シ ス正

位

公廿 銀新伏三 二選見日 百雑ヲ 枚彙発 ヲニシ 賜拠京 トレ師 アハニ ゛, , , , , , , 秀リ 意へ 将新 軍将 小軍 袖二 三謁 十シ · 賀 馬詞 一ヲ 匹献 ス 白

ヲ在将公廿 国リ軍書五 二国ニヲ日 還政京天 サニ師野 ン任ニ元 トシ謁政 スカシ入 、ラ、道 其竭其二 時シ他賜ヲ、無ヒ 以怠事 テ惰ノ前 命ナ状将 令カヲ軍 ヲラ報ニ 発シシ伏 スム、見 へ `元ニ キ近政謁 ト日萩シ ナー地 リ人二新

四月大

事ツ其天ト家一 卜天厚野請康日 頗野意元フ将 ル元ヲ政 軍 老 紛信謝人 擾・シ道 ヲ 二熊、ヨ 至谷明リ ル元日領 ヲ直発産 其 職 ヲ 、人テヲ 急、京献 辞 シ 之ヲ ニ益師ス 萩田ニ、 右 地元朝因 大 ニ祥ステ 出トル公 将 テ相ヲ書 秀 其ヒ告ヲ 忠 鎮怨ケ賜 、フ 静隙 譲 ヲシ且テ

五月小

岩五 武日 弥 + 郎 ヲ 助 右 衛 門 尉 二 任 ス

シル新十 ム 、将五 `将軍日 然軍伏 ト大見 モニヲ 公悦発 親フス寵、ル ノ蓋ヲ 殊シ以 異列テ ナ藩 ルニ公 ヲ禁大 以シ津 テ発駅 是程ニ 挙ヲ至 ア送リ リル其

無帰

カヲ

ラ送

ニ大天十 就津野六 クニ元日 ヲ送政 以リ・ テ、宍 我其戸 モ遇元 亦待続 タノ・ 近渥渡 日キ辺 帰ヲ長 程陳二 ニシ書 上、見 ラ列賜 ン侯ヒ 卜暇 スヲ昨 告日 ケ将 、軍 国ヲ

月

ト無ス右公九 ナシル衛嘗日 リ、所門テ 将ハ尉吉 来謹元川 密テ以広 旨其ニ家 フ旨就ニ 令ヲキ命 ア奉誓セ ルス書シ ト、ヲ事 キ広上ア ハ家ルレ 誓奉、ハ テ仕其、 他ノ文広 二志二家 洩ハ日ヨ ス前クリ 無年、井 カト公原 ラ渝ノ四 ンル命郎

旨 ヲ 福 = ス、 1 ラ上

其

仕三キヲフ綱旅元トトト陽少事天

内日 広 俊 視 広 俊 通 誓 ル、

シヲテ翼渝文 メ賜他スルニ ハハニヘ無日 神リ洩シシク明、ス、、、 ノ明無又施臣 罰覈シタ政ノ 極ナ、其ノ心 ヲラ今事際衷 蒙ショノ失ハ ルメリ機誤嘗 可ン以密アテ シト往ニラ表 トス纔渉ハス ナ、構ル忌ル リ若ニハ諱如 シ出其ヲク 是ル旨憚 言アヲカ丹 ノラ奉ラ誠 詐ハシス無 妄、匡二 ナ訊戒救毫 ラ問メ補モ

内廿 藤八 与日 几 郎 =

加

冠

シ

偏

ヲ

賜

七 月 1

テノ元野動マ暴而

左心円太ス又戻テ

右ナモ郎ルタニ其

ヨク亦兵ヲ熊シ深

リ長タ衛以谷テ恩 撃刀同尉テ・法厚

ツヲク元誅天令沢

元セキ等スニ違浴

円ス門ニヘ与背ス

家シ外命キミシル

臣テニシトシ、ヲ 一出在赴、党不忘

人ルリカ香援臣棄

利ア、シ川ラノシ 割ヲ、元ム彦為行、、

受景祐 、左シヒ父

ケ貞ヲ宍衛 `少ノ

テ・呼戸門国ナ功

死元フ十尉家カニ

ス辰、郎景ノラ誇ト耦元兵貞難スリ

雖進祐衛・ヲ`放

トシ何尉河煽今肆

`带往辰伐野二二

熊二 谷日 豊 前 守 元 直 ヲ 誅 ス、 蓋 シ 天 野 元 信 1 争論 党援

> ニ系垣門ス 作業計 が 前某 ハ進・ 元シ元

直テ政

ヲ重家

訪創臣

ヒヲ財

其受満

坐ケ彦

ニテ兵

在死衛

リス尉

`某

へ輪支把、・装信テス謀ハナニ野 元 、ハルル元三ヲヲ、、リ和カ勤五難佐井是直 忠郎能ノ信浦解山遂乱互順ラ励郎ニ波原日夫 節兵八間周平キロニ源ニヲス力左逢次元綿妻 ヲ衛スヲ章右双ニ誅ヲ相表、ヲ衛フ郎以貫皆 竭尉、得ス衛刀召殺塞党ス搬竭門テ左家九ナ シ元遂スル門ヲススカ援ト石ス尉死衛臣郎誅 其祐二、ヲ尉脱、ヘスシ雖盗へ元ス門大右ニ子ハ斃赤元重シ元キン、ト窃キ信 尉田衛伏 元父ル挙綱棟適信ニハ密モノニハ 迎進等意嘗決何二陰論、築 祐加 ヲ賀 へミ馳逸テスヲ隊ニヨ騎城 戦撃赴居之、以士禍リ倣石フツキスヲ是テヲ心、ヲ垣ト、、、ル知ニ治誂ヲ隙逞ノ シ守 テ元 公徳 雖事逆ヲラ於国誘包ヲシ任 ノ幼 トノ旅、ステノシ蔵益侮ヲ モ不ニ桂逆公基大シ田慢受 暬年 御二 重意就三旅事ヲ獄、元ノケ タテ ラ隆 棟ニキ郎ニニ立ヲ熊祥挙 之起命兵在托ツ起谷トモ日 シ元 ニリヲ衛リシヘサ元生亦々継刀伝元、、キン直シタ其 ム公

シト自ニ命ノ木終 坐セ裁遣シ治ヲニ ニハヲハ誅安伐大 就、勧シヲ求ル難
ク来メ、元ムハヲ `テシ罪直可良醸 弥我ム悪ニカ木成 十ヲト貫加ラヲセ 郎縛雖盈へス長ン 挺ストヲシトスト 進へモ致ム廟ルス シシ元セ゛議ナ 之ト直ハ先一リ稂 ヲテ肯誅ツ決、莠 斬、セ戮妙シ乱ヲ ル腰スノ悟、源除 `刀`刑寺宍ヲハ 衆ヲ我免ノ戸杜嘉 継脱ヲシ僧弥カ苗 テシ以難ヲ十スヲ 進之テヲ元郎ン養 ミヲ罪諭直元ハフ 抛ア説ノ富国

擲リシ、宅ニ家悪

郎元少ヲセ 左直輔破ス 衛夫九リ 門妻郎 `又 尉ヨ元吉タ ニリ景川其 嫁大ニ広女 ス方嫁家ヲ 、ニセ・他 広告ン新ニ 家スト庄嫁 及シス大セ ヒテ、方ン 大俄而暴売ト 方ニテトシ 其其親謀、 己約迎り公ヲヲノ、ノ 売変期元命 ルシニ氏ト ヲ佐臨ノ称 怒波ミ男シ

ヲシ運シサ熊相迎原信善ニ 人ヲ中元原遂 出ム漕大ル谷刺へノ・兵双 サ、セ木ナ元撃撃宅山衛刀 ノ之、ヲ往妻ニツレ兵ハニミヲ是出年ノ倶、ハ衛三斃 ナ拒時サ豊罪ニ庄、尉輪ル ラミ元シ臣悪死原善元元 ス出直メ氏ヲス・兵則祐、シモ、ノ歴・山衛ニノ 山衛ニノ 他肯亦楢大挙 県尉命党 ノヘタ崎仏ス 身既シナ 丁ン丁弾ヲル 命ニテレ 夫セ夫右営ニ ヲ之之ハ ヲスヲ衛造、 顧ヲヲ、 支、出門ス誅 ミ覚誅庄 へ独シ尉ル戮 ス知セ原 妨り其元 奮シシ市 碍己役兼芸免 闘テム郎 スノヲニ国ル ス其、兵 `丁助命二能 `至二衛 其夫ケシ令ハ

三ル人尉中モ

ル多ムルリ毛直戸シハ其償年シ其 シ、ヲ幕利ヲ城テ国ノ米元テ罪 、是以府秀シ土其家罪破直其ノ 尾其ノテニ元テ木暴ノ十約ヲ家八 氏罪時、請ノエノ挙恒ナトシ統ナ モノニ福ヒ妹事事ニ典リ宣テヲリ 亦十当原、ヲヲア党ナ、言益承 タニリ広之長司リ援リ凡シ田ケ元 同ナ元俊ヲ岡ラ、セ、ソ、元シ清 クリ直ヲ公越シ本シ而上家祥メノ 其、群シニ中メ藩ムテノ臣トン病 役元臣テ報守江ヲ、令令ヲ福トヒ ヲ直ノ急ス忠戸シ其ニス備島謀危助ノ機ニ、興ニテ罪抗ル後償ル篤 ク江密江然ニ在其ノシ所ニ米 戸ヲ戸ト嫁リ役十禁ハ遣ノ其日 エニ外ニモセ、ヲーヲ謹ハ事罪 事在聞至公シ公助ナ犯テシヲノ元 ヲリニリハムノケリシ奉私司九直 司工洩辞聞、命シ、、行欲ラナ己 ル事ス謝知忠ヲム往親スヲシリノ 吏ヲ最セセ興矯、年戚へ行ム、孫 元司モシサヨメ元江ヲキフヲ前ヲ

減卜熊功桂四 シモ谷ヲ三日 `太賞郎 邦討郎誉兵 外伐右ス衛 ヘノ衛 尉

就ヲ衛テケ吉允事尉書ハ罪 真伝門采ル川就其元ヲ、ヲ ニへ尉地カニ真源定広已不

伝、・旧、属入委ヲ俊ム問 フ井桂ノ皆シ道ヲ岩ニヲニ 原但如ナ岩玄詳国賜得附

元馬ク元国要記ニヒスシ 以守賜直ニ産産ン遣、厳ケ・ハニ住属を、ハ其刑ル 佐今リ与シ辰製広シ始ニカ世田、ヤンション・ナー・ 世田、セ、森家、末処、 元平佐ス其森殿熊ヲセ天 `末処 嘉右世、子県ト谷陳ラ野・衛元且藤孝大元説レ元 本尉ヲ信衛 二夫 元ニシ直門ハ報妻又 吉贈テ窓駅是知・タ因シ 連リ書ノ元時ス天木テ禍

放日門 元 黜宗尉 綱 セ家元 = シニ吉 ラ ム至ハ リ宗 賜 守家 フ テ 衛元 天 ノ直 態ノ 野 ア悪 元 信 レニ ハ党 ヲ `援 誅 署、ヲ勲辰 殺 シ先香労萩 死セ 一ス ス テツ川ヲニ

フ佐ヲ柳

熊三

元

直

姦

悪

ノ

挙

多ケ

1

干

福

原

広

俊

姻

戚

ナ

レ

ハ

其

世為沢 谷日 榎ヲ門ニ生ト

元シ三失ノセヲ妻大信属天リササテ 嘉心左ヒ議ン受孥津ニシ野 ・力衛命ヲコケヲ城命蔚五 夏ヲ門ニ生ト `泉ヲシ山郎 本労尉背シヲ公州保出城右元シ景ク、警ョ堺守テニ衛 吉遂祐、墨シリニセ禦在門 連二八其痕メ禁脱シカリ尉署其熊誅未、令スムシ、元 ノ事谷戮タ元ヲ `ルム敵信 書ヲ誅ヲ乾信下而ニル兵ハ ヲ誤伐免カ誓シテ、ヲ来、 授ラノレサ書、今窃其り往 ケス事サルヲ協段ニ令犯年 `ヲルニ上心築城ヲシ征 公因掌亦其リ戮城ヲ違第韓 感テトタ盟シカニ出背三ノ 賞井リ宜ヲニ其テテス郭役 ノ原、ナ渝、功奉大、ヲ宍 意元其ラフ忽ノ行坂又攻戸 ヲ以処ス、チ速役ニタム元 伝・分ヤ信盗ニノ至嘗、続 ヲ石竣命リテ元ニ

ンス益

トシ田 ステ・

大却野

逆テニ

無天家

道野ノ

ナニ隊

レ党士

ハ援論

遂シ争

ニ、シ

重国起

罪難ル

処釀和

セシ解

ラ大ノ

レ獄術

シヲハ

ナ起為

レ佐

ハ波

固越

ヨ後

リ守

連広

坐忠

ノハ

罪熊

ア谷

ルノ

二姻

非戚

スト

其ト

子モ

内其

誅悪

戮二

ノ党

命セ

下サ

善

`雖

ラ

ニヲ

`天

分心就佐八 ニ戮天ヲ以ヲル 放ヲ野伝・憫ヲ 疏術キ波日 ス行、越 逐被勘へ佐ミ知 事能後 セル左シ世 シノ衛ム元広ス 疑谷守 ム日門 嘉忠熊 へ元広 `尉 キ直忠 ・ノ谷 彼• 多・ヨ 榎采ノ ケ天リ 本邑宅 ノ同 レ野井 宅彦 元ニニ 二左 吉於至 ハ元原 至衛 ヲテリ 嘗信元 テハ以 リ門 シハ其 テ異難 党姻• 守尉 連議二 与戚佐 禦ハ ノ同 署ナ遇 セノ世 状族 ス好兀 ノキフ ア嘉 誓ヲ ア元 書リ・ 書以公 ル信 ヲト榎 ヲ山 ヲテ其 以、無 上雖本 以口 リト元 テニ テ井虞 其原ノ 之モ吉 邦テ

外誅

命元死

ヲ其ニ

故ヲ熊九 ヲ効谷日 以ス玄 テへ蕃 毫シ入 モト道 疑赤玄 心心要 ヲヲモ 挟表亦 マスタ サ `佐 レ公世 ハ書元 安ヲ嘉 堵玄二 ス要就 ヘニキ キ賜至 トヒ誠 ナ、無 リ元二 直忠 ノ貞

`リニ

`野原今乱

熊元次日ノ

谷信郎公兆

玄等兵ヨア

蕃ノ衛リレ

息ク佐十 藤 `世日 左来元 衛書嘉 門ノヨ 二意リ 賜既書 ヒニヲ 宗公熊 家ニ谷 罪啓玄 アシ蕃 ル手入 ヲ書道 以ヲ玄 テ賜要 疑フニ ハ、贈 サ而ル ルテ ノ公其 意謁文 ヲヲニ 諭貴日

トシ能告 ナンクシ リ唯其、 タ旨且 凍ヲツ ナ領別 ルスニ ヲヘ俸 可シ禄 卜, ヲ セ足賜 ハ下ハ 其ハン 時広ト 日家ス ヲト ` 記同是 シシレ 以ク特 テ萩典 報二二 ス来出

ヘルツ

シ可

命其又以在

IJ

ヲ旨左

等公十 伏専三 誅使日 ノヲ 状伏 ヲ見 報二 ス遣 ハ 書 ラ 福 原 広 俊 = 賜 Ľ 熊

谷

元 直

等卜

ヲ雖

ル

其福十 始原一 末広日 ヲ俊

報伏

ス見

=

在

IJ,

熊

谷

元

直

筡

事

ハ

公

ヲ

賜

伏福廿 シ原三 タ広日 ル俊 ヲョ 賀リ スー 公ヲ モ遣 赤ハ 書シ、ヲ 賜悪 フ逆 テ無 其道 意ノ 二臣 答速 株

シ世采レ天廿 元元地ハ野八 信嘉旧 `新日 ニ・ノ其兵 党榎如父衛 はセ本ク隆尉 サ元安重元 ル吉堵ノ珍 ヲニセ勲ハ 証就シ功元 シキムヲ信、誓、思ノ 之書因ヒ兄 ヺヺ゚゚゚゚゙゙ヺヽ゚゙ト 神上元操雖 明リ珍守ト ニー・ヨノモ 誤ニ、ヨノ、 要君リ確 ス恩井夕元 ノ原ル信 優元ヲニ 渥以嘉党 ヲ・賞セ 拝佐シサ

実

録編さん

八 月

シ善尉中一ミ郎三衣一浦天闘天ヲ亦絮宍ニ 兵・原口撃兵輪一称平野死野其夕衣戸日 一衛山善ヲチ衛八称・右元ス元子魁系跡 郎尉県兵賜遂尉郎ヲ米衛信、政ニター十 即尉県兵賜逐尉即フ木闸 ロッー・ 兵ト市衛フニ命兵以三門ヲ公入下リ称 衛相兵尉 ハヲ衛テ十尉誅書道シト・ 別南帝 郎受尉ス苞重スヲノ、雖 刀熊 子シ尉亦 兵ケノ ヲ棟ル元臣米トー元 新テニタ 衛テ誅 以ナ初政財十モコ市 棟ヲ郎ヒ尉香ル綿先 ヲ賞兵其其花ヲ貫駆 賞ス衛功他ノ以九タ ヲ質兵兵共化ノ 賞ス衛功他ノ以九り スル尉ヲ一資で、 ハ ルニ元褒人ト 二刀綱賞倶為公衛 絮衣三

三死命熊 ト往セ 相キラ共、ル 郎スシ谷 二、誅元 二八 賜公セ直 ニ之シニ 死郎香 書ヲム党 ス兵川 ~与 `衛彦 ベミ各シ 腰、勇 河尉左 野迎衛 刀且奮庄 • 闘門 香フ尉 一ツ劇原 川、一 口其關一 二二河 ヲ勇シ郎 以ヲ遂兵 刀人野 テ賞ニ衛 各進太

及憫

元尉シ 吉ハ 二男外 賜子二 ヒア米 教リ拾 育テ苞 力猶ヲ ヲヲ賜 竭幼ハ サ稚リ シナ香 ムレ花 `資 書ト ヲナ 其ス 父 平而 右テ 衛市 門兵 尉衛

> ヒ罪天公 之状野書 ヲノ既ヲ 贈源二福 ル委誅原 等戮広 ニヲ俊 至蒙ニ リリ賜 テヘブ ハ其 遺始蓋 洩末シ アヲ広 ル告俊 ヲク伏 以卜見 テ雖ニ `下在 詳モレ 載、ハ シ猶 テホ熊 再其谷

防廿 州三 山日 П 多賀 社 神 官 高 橋 虎 寿 ヲ 左 近 大 夫 =ス

九 月 小

伊九 達日

清 蔵 =加 冠 ス

承井廿 ケ上五 奉藤日 仕右 ヲ衛 勤門 励尉 セ元 シ信 ムニ 命 其 父 善善 兵 衛 元 忠

製長廿 **シ州八** 神阿日 官武 報郡 楽三 允見 二村 与八 ラ幡 社 Þ 領 グラ、 佐 世 元 日 IJ 田 ヲ

月 小

三九 浦日 ○右の! 別郎ニ 慶和 4冠 十十月 温偏の 静の。ヲ 寒賜 編ヒ 元実 \vdash

桜十 井七 小日 郎 = 加 冠 シ 偏 ヲ 賜

フ

木防廿 原州七 九山日 郎口 兵多 衛賀 尉社 連々 署領 テ井 田善 簿兵 ヲ衛 神尉 官• 民斎 部藤 太四 夫郎 二兵 与衛 フ尉

+ 月 大

ニヲ防五 怠以州日 慢テ都 ナ参濃 力嶺郡 ラ和長 シ尚穂 ムニ村 命龍 シ文、寺 入住 寺持 セ職 シ メ先 寺住 務咲 ヲ外 勤和 励尚 シノ 灑附 掃嘱

月 小 脱サ日リ為其ノ争公ヨ際シ 走ンク故ス九処論ノリヲ セコ 、アヲニ分ヲ処訓遮其 シト庚リ禁日ヲ起分誨断七 者ヲ子其スク待スヲヲシニ国請以理へ、ツア受施、日 内ト来ヲシ前ヘラケシ或クヲモ進陳、主シハ抗禁ハ、 排、仕述若放、、戻制朋同 徊急ノセシ黜怒速ノア類輩 セニ臣ハ新ノニニ状ルヲノ ハ之僕速ニ証乗訴アへ拘中 `ヲヲニ禄券シヘルシ引或 当許前其スラ妄出無、シハ 主ス主人ル帯ニテカ若、彼 ニヘヨヲ所ヒ騒私ルシ私此 之カリ返ノサ擾忿へ下党ノ ヲラ譜ス臣ルヲヲショヲ間 達ス第へ僕ハ生抑、リ結ヲ ス トシヲ吾ル制其訴フ掩 へ又称 、カ無シハルア隔 シタシ其旧臣ル以ニ有ラシ `一返十主僕ヘテ日ラハ其 其旦へニョトシ公クハ公交

トトステス甲ラル援ノ背ム群暴シルン誅ナ元 モモル其凡冑スへス命違、臣慢力ニハ戮ル直 怒、無命ソシ、シル令ナ熊恐横ヲ足善セ天驕 ヲ殿カニ諍テ其、ナヲカ谷懼恣国ル良ラ野傲 抑中ル違論着四仮カ遵ル等シニ家、何ル五放 ヘニヘハ闘ルニ令ル奉ヘノ条シニ臣ヲ `郎恣 、会シス撃ヲロヒヘシシ事シテ効等以是右ニ 憤シ、、ニ許ク親シ犯、実テ、サーテレ衛シ ヲ衆其同至サ、姻、畔其ニ誓元ンニ勧実門テ 忍賓六輩ルス争タ若ス三其書就ト公メニ尉公 ヒ饗ニタモ、闘リシへニ旨ヲ公ス命ン国元命 慎宴曰リ、其ノト妄カ曰ト上ノ、ヲ、家信ヲ テノクト公五状雖ニラク合ル赫其奉群ノ・侮公席、モ命ニヲト之ス、ス、怒ニシ下定熊犯事ニ群亦ヲ曰観モヲ、士、今ヲニ異ヲ律谷シ ヲ在臣タ以クト謹援而衆先臣蒙曰心懲有次誅妨リノ必テ、欲テクテノ規等リクヲシ罪郎討害、中ス鎮貴シ愁ル他諍ニヲ赤、挟メヲ兵ヲ ス其深制静賎其訴ア人闘遵シ族往ス黎罪衛蒙 ル人讎止セ尊場ヲラヨハ行テノ年、庶ス尉リ 無ニ宿シハ卑ニ為ハリ専シ閲誅井丹ヲル等 カ避怨テ畏ヲ至ス罰之ラ宜覧ヲ上誠警ニ同其 ル逅ア煽懼問ルヘヲヲ公シセ受ーヲ誠非シ党 ヘスリ誘シハモカ蒙党上クシク族尽ススク与

人熊十 連谷四 署元日 シ直 テ・ 誓天 書野 ヲ元 公信 二等 上誅 ル戮 `ヲ 其被 一ル ニヲ 日以 クテ `群 熊臣 谷八 豊百 前十 守九

於ノ元俊士 ヲ往日 ル思ニ等心 生年不 啻ヲ贈媾ノ シ勢詳 相州 ニ為テ和和 水セ日ヲヲ 争二 魚リク謀失ノ、リハ ヒ荏 IJ 遂へ ミ然近 `国 二毛 ナト年元家 二利 ラモ部祥ノ ス往下宿巨 家秀 `事ノ恨害 隙元 而ヲ怨ヲナ ヲノ テ顧隙解レ 生近 今ミヨキハ シ臣 瑣レリ 多益 細ハ二渙吉 ク田 年元 小尊ノ相広 所祥 忿考間忘家 ヲノ 歴臣 シト 力論 能二讎秀広 議

其

請字廿 粟廿 可ニ具ハヲノニ水川路ハ有 ヲ多四 屋二 許田日 与日 シ対 公馬 郎 役守 = ヲ采 加 怠地 冠 慢ヲ ナ其 偏 力孫 ラ新 ヲ シ九 賜 ム郎 フ = 譲 ラン 1 請 フ、

シシハ 、得為出流沢ハ、ラ `嘗其サニテノ堰往田ハ 若欠テ額ル傷死勢堤年主、 シ失令則ヘヲシニノ再其牛 背ススニシ受タ随地次牛馬 違可ル随 タルフ修査馬ヲ セカ如ヒ其ルハへ造丈ヲ其 ハラク遵十ハ、シノノ収主神ス、奉六其村、資定取ニ 明、秩ス二人人其先規ス還 ノ此禄へ日ニ随十年ニヘス 罰ノノシク還意五ノ随シへ 極数多、、ヘニニ定フ、シ ラ款少其公シ収日則へ其、 蒙ハニ十役、獲クニシ十三 ル堅応七ハ他ス、随、三次 サヲ器アム狩村狭万川牧 ル厳馬レル客中ハへ道セ

中用若里事解ク十 牛セシノアア許一 馬サ人迷リラスニ ヲレ民惑、ハ可日 牧ハヨヲ潜返カク ス奉リ生ニスラ ル行其ス国ヘス庚 ヲ役給ルヲシ、子 得へ主ア去、仮以 ス訴ヘリリ人令来 フ訴、親民ヒ逃 若ヘル将戚ノ私亡 シシア来ノ租領ノ 之、リハ者賦ニ民 ヲ其テ如己既住再 放十、此ノニス帰牧二三ノ戸調トヲ シニ次弊籍貢モ請 菜日ニヲニシ `フ 穀ク至理録畢先ト ヲ、リ革上リ主モ 害田未スシ愁ヨ ス圃タへ、訴リ輒 ルノ聴シ郷ノ理ス

へ犯命今永上秀リニア シスヲ段・里元 上ル 上ル トル領公伊藤ノ ルヲ `以 ナアス命秩右老 リラ、ア采衛臣 其テ 意へ へハ群リ女門椙 二 後速臣テ正尉杜 二家 略二固吉元規下 人誓 ´糾ヨ川恵貞総 心書 明リ家連・守 ヲ其ト署西元 ヲヲ 協交 蒙旨輯シ孫縁 リヲ睦テ兵・ セ換 °奉相誓衛西 邦シ 家今 公戴親書尉次 ニセマヲ元郎 ノ日 藩連 告サシ上由左 屏署 ケルムル・衛 之無 ` 福門 タシ ラシ臣其原入 刑 、等文大道 ルテ 書~ シヲ ニ若謹ニ炊以 卜両 処シテ日頭節 ス違其ク清・ ナ公

元

Ш

広 家二

人

輯

睦

シ

社

ヺ

輔

翼

ス

^

丰

命

シ睦公ノキ心文原忽於シ阜ハ 利六 ト相書ニ書ナニ元チテ `白ス 秀日 謀ヲ人ヲク曰以融秀休ヲ 盟リ賜若上国ク・釈元戚弁遂 書、ヒシル事、榎シモヲセニ ヲ邦 `隙秀ニ今本復亦社サ前 以家今ヲ元勤ョ元タタ稷ル好 テノョ生ト労リ吉片宿トニヲ 同為リス同スハ・曀憤共似失 心ニシルシへ二佐ヲヲニタヒシ深テア、シ家世存散シリ、 テ慮後ラ既ト怨元セシカ、国 宗遠チハニナ隙嘉ス、ヲ今家 社謀愈、シリヲニ、答国ヨノ ニショ国テ、解就秀詞事リ大 屏外心家毛元キキ元ヲニシ任 藩侮ヲノ利祥両書ヨ裁竭テヲ タヲ協大秀モ公ヲリシク後遺 ル受セ患元亦ニ公福、サチ棄 ヲルカナ・タ奉ニ原ニン親セ 視無ヲル吉四ス上広家ト睦ハ サカ戮ヲ川人ルル俊ノ、旧、 シルセ以広ニ、、・怨是二軽ムへ輯テ家就二其井ミニ復重